

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 五條市立五條東小学校

① 学習指導案

プログラム	No.1 「 ひそんでいるぞ!カオ・かお・顔 」
単元名 (全11時間)	まちのかくれんぼ
学習のねらい	顔を見つけるという視点で活動することで、身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、探求する中で地域のことに関心をもつ。
学習内容	1 事例の写真を見て、活動の流れを確認する。 2 校舎内で顔に見えるものを撮影し、発表し合う。 3 まちたんけんで見える風景を探す。 4 「まちのかくれんぼマップ」を作成する。 5 「まちたんけん調査報告会」を行う。
参考資料 準備品 実施場所等	・東小カルタ・卒業生が作成した東小カルタ解説HP、絵本「笠之辻地蔵」 ・デジタルカメラ・まちたんけんのルートマップ ・校内、校外

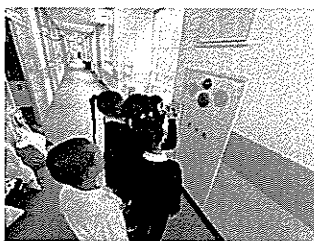
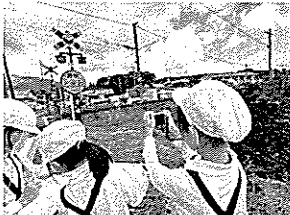
学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○事例を示し、これからの活動の見通しをもつ。	・撮影の手順とカメラを扱うときの注意点を指導する。	活動の意欲
1	○校内にある「かお」さがしをする。	・算数の「三角形と四角形」の学習をふり振り返りながら、「かお」を見つけるコツを指導する。	
1	○撮影してきた写真を互いに紹介し合う。		
1	○まちたんけんのルートを確認する。		
3	○まちたんけんを行い、顔に見える風景を撮影する。	・撮影を行った場所をマップに記録させる。 ・グループごとに協力して、撮影を行わせる。	コミュニケーション能力
1	○撮影した写真をグループごとに紹介する。	・情報が伝わりやすいように、資料のレイアウトや説明を考えさせる。	課題追求能力
2	○「まちのかくれんぼマップ」を作成する。		表現力
1	○発表を行う。	○伝わりやすい発表の仕方について考えさせてから、発表させる。	表現力
1	○単元のふり振り返りをする。		自己評価力

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 五條市立五條東小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4時間	教室 校内	○まちたんけんの準備をする。 ・撮影の練習 ・まちたんけんのルート確認		校内で撮影する中で、普段は目に入らない景色があることに気付いていた。校外に出て、「かおさがし」することへの意欲が高まっていた。
3時間	学区	○まちたんけんで顔が見える風景さがそう。 ・撮影した場所をマップに記録する。	 	さまざまな景色や建造物に目を向けるだけでなく、その形や役割についても興味をもっていた。
3時間	教室	○「まちのかくれんぼマップ」を作成し、調査報告会の準備をしよう。		写真の精選やマップの色分け、説明の工夫によって、より伝わりやすい発表ができることに気付いていた。
2時間	教室	○「まちたんけん調査報告会」をしよう。		学習を通して、まちの歴史や建造物に、興味をもっていた。工夫した発表が、しっかり伝わったことで、達成感を感じていた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 今回の「まちのかくれんぼ」は、「笠の辻たんけんたい」と題した生活科のまちたんけんの中で行うことで、自分たちの暮らす町について探求しようとする気持ちをもって取り組ませた。また、カリキュラムマネジメントの視点から、図画工作「ともだち見つけた!」、算数での既習事項「三角形と四角形」の学習も並行して行った。
(2) 実施にあたり苦勞した点 マップに撮影場所を記録するために、事前のルート確認を行っていたが、2年生の児童にとって、地図上で現在地を把握することは難しかった。事前の指導で、ポイントとなる建物や公共物を写真とともに示すことで、現在地の把握をしやすくすると良かった。
(3) 児童の反応 普段は無意識に眺めていた景観を、顔を見つけるという視点をもつことで、細かな部分までまちの景観を見ることができていた。また、顔を見つckerだけで終わらずに、「これはどんなやくわりがあるのか?」「なぜこんな形をしているのか?」「何の建物なのか?」など、自分たちの町への興味・関心も高まっていた。調査報告会に向けて、より伝わりやすい発表の方法を考え、よりよい発表にするための工夫に気が付くことができた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 カリキュラムマネジメントの視点から、国語・算数・図工など、他教科での学習内容を活用することが、これまでに身に付けた力のさらなる定着につながると気付いた。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕 それぞれの登下校のルートなど、今回のまちたんけんで調べた場所以外も調べるよう働きかけると、さらに自分の暮らす町への興味・関心が高まると感じた。